

森林内における放射性物質の分布状況等に関する調査

【173百万円】

対策のポイント

福島第1原子力発電所の周辺地域の大半を占める森林地域の放射性物質の空間線量率、土壌等の放射性物質の濃度についての調査を緊急に実施します。

<背景/課題>

- ・東日本大震災による福島第1原子力発電所の事故により、放射性物質が大量に大気中に拡散し、周辺地域の大半を占める森林地域でも高い空間線量率等が観測されており、既に警戒区域等において林業生産活動が制約を受けているほか、将来の森林・林業への影響も懸念されています。
- ・具体的には、森林地域の空間線量率及び土壌等における放射性物質の濃度実態を緊急に調査し、的確な取組を進めていく必要があります。

政策目標

森林地域の放射性物質の空間線量率、土壌等の放射性物質の濃度を把握し、的確な取組を支援

<主な内容>

福島県内の森林地域において、10kmメッシュを基本に必要な調査地点を設定し（福島県内で約200カ所の測定を予定）、森林内の空間線量率及び土壌等における放射性物質濃度について調査を行い、濃度分布図等を作成します。

（委託先：民間団体）

（お問い合わせ先：林野庁研究・保全課（03-3501-3845）（直））